

APU COOP COOPマルシェ

第030号
(通算505号)



[店舗]

取り組み概要

日時：2022年10月31日10:00～15:00
場所：APU COOPのショップ
参加者数や組合員の反応：APUの学生を中心に多くの組合員が来場し、お菓子やコーヒーなどを購入する人も多くいた。

● 背景や概要：職員のつながりで別府市のハンドメイド系の団体がショップでお店を開くというイベント。コーヒー、お菓子、流木アート、似顔絵、アクセサリなど計7店舗が出店した。

外部との協同で店舗を盛り上げる！

POINT.1

大学外の組織とも協同！



ショップで働くパート職員さんのお知り合いから広がった協同で、COOPのショップで様々なハンドメイド商品やお菓子、コーヒーなどを販売しました！普段大学生協の店舗や食堂では扱えないような、ここでしか見ることのできない商品の数々に組合員も大満足でした。外部と連携することで大学生協だけでは実現することが難しいようなことも可能になる、ということがよくわかる活動でした！

POINT.2

学生も強みを活かして運営サポート！

今回の企画は在学生の約半数が留学生であるという特徴を持つAPUのキャンパス内で行われたため、当然多くの留学生も訪れました。大学の性質上、APUの学生たちは英語力に秀でている人も多く、その力を活かして留学生などの対応を請け負いました。

また、学内の様々な団体と繋がっているStudentCoopのInstagramで宣伝を行うなど、自分たちの強みを十分に発揮することで運営サポートを行っていました！



POINT.3

店舗の活性化にも繋がる！



APUは留学生が非常に多いという特徴や、キャンパスが別府市街から遠く離れた山奥にあるという特徴などから、コロナ禍で店舗や食堂の利用が大幅に減少してしまいました。しかし、2022年になって留学生の受け入れや対面授業、課外活動が再開するにつれてこうした店舗でのイベントも行えるようになり、少しずつ以前のような活気を取り戻してきています！

つながる元気、ときめきキャンパス。



12 つくる責任
つかう責任



17 パートナースHIPで
目標を達成しよう



ご質問や[QBK NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [進藤 景太]
Shindo.Keita@univ.coop